科目名			担当教員	
保健医療と福祉			佐藤　英仁	
科目コード	科目単位	スクーリング単位	履修方法	配当年次
CE4173	2	1	RorSR (講義)	3 年以上
生成 AI 利用レベル		レポート　：　C	試験（スクーリング含む）　：　C	

科目の概要

■科目の内容

日本における保健医療サービスはいつでも安心して医療を受けられる国民皆保険によって支えられてきた。しかし、高齢社会の進行とともに医療保険制度をはじめ、保健医療サービスはさまざまな分野で変更がなされている。医療は我々に非常に身近であり、誰にでも必要なものであるが、意外と知られていないことも多い。例えば、「病院と診療所はどう違うのか」、「出産したときにもらえるお金はいくらか」などについて自信を持って回答できるだろうか。

本講義ではそのような身近な疑問に答えられるように、医療現場の現状や医療・保健分野の仕組みを理解する。また、医療に関する様々な課題を見ることで、現在求められている医療について考察する。

■到達目標

1）医療・保健分野における諸制度を説明することができる。
2）診療報酬制度を説明することができる。
3）医療保険について理解し、さまざまな具体的事例に対応できる。
4）医療ソーシャルワーカーの業務を説明することができる。

■学位授与の方針（ディプロマポリシー）との関連

とくに「俯瞰的な分析力」「開発・創造力」を身につけてほしい。

■科目評価基準

レポート評価 50%＋スクーリング評価 or 科目修了試験 50%

■教科書・参考図書

【教科書】

日本ソーシャルワーク教育学校連盟編『最新・社会福祉養成講座 5 保健医療と福祉（第 2 版）』中央法規出版、2025 年

（最近の教科書変更時期）2025 年 4 月

（スクーリング時の教科書）上記教科書を参考程度に使用し、配付する資料を中心にして講義を行います。

【参考図書】

1）公益財団法人日本医療総合研究所『コロナ禍で見えた保健・医療・介護の今後』新日本出版社、2022 年
2）本田宏編『日本の医療はなぜ弱体化したのか再生は可能なのか』合同出版、2021 年

3）末永カツ子編著『アフターコロナの公衆衛生ケアの権利が守られる地域社会をめざして』自治体研究社、2022 年

スクーリング

■スクーリングで学んでほしいこと

医療は私たちに非常に身近でありながら、意外と知られていない制度も少なくありません。特に、診療報酬制度や医療保険制度には知らないと損をしてしまう場面が多々あります。スクーリングでは、今後、損をしないために知っておくべき医療・保健制度を中心に講義します。

■講義内容

回数	テーマ	内容
1	医療法・医療政策・医療計画	医療法や医療政策、医療計画の概要を学ぶ。特に近年変化した部分について重点的に理解する。
2	保健医療サービスの専門職の概要と役割	業務独占と名称独占の解説および医師、看護師等の仕事の概要を理解する。
3	医療機関の概要	病院と診療所、特定機能病院、地域医療支援診療所などについて学ぶ。
4	診療報酬制度の概要―診療報酬点数表	「診療報酬制度とはどのようなものか」について学ぶ。また、具体的な点数についても取り上げる。
5	診療報酬制度の概要―出来高払い制と包括払い制	診療報酬制度の近年の改定、出来高払い制と包括払い制などについて学ぶ。
6	医療保険制度の概要―療養の給付・高額療養費	療養の給付、入院時食事療養費、入院時生活療養費、保険外併用療養費、高額療養費などについて学ぶ。
7	医療保険制度の概要―傷病手当金・出産育児一時金	傷病手当金、埋葬費、出産育児一時金、出産手当金などについて学ぶ。
8	国民医療費の概要	国民医療費とはどういうものかを理解したうえで、国民医療費の現状（制度区分別、財源別）や推移について学ぶ。
9	スクーリング試験	

※オンデマンド・スクーリングでは、上記の講義内容と異なる場合があります。

■講義の進め方

パワーポイントおよび配付資料を中心に講義を進めます。講義中に表示したパワーポイントのスライドはすべて配付します。教科書は参考程度に使用します。

■スクーリング評価基準

スクーリング試験は択一式にて実施します。出題範囲はスクーリング中に学んだ内容となります。

教科書や資料、ノートの持ち込みは可能です。

■スクーリング事前学習（学習時間の目安：5～10 時間）

教科書の第４章第３節は読んできてください。また、講義内容の関心あるテーマについて、自分なりに学びたいことを考えてきてください。

レポート学習

■在宅学習 15 のポイント

回数	テーマ	学習内容・キーワード	学びのポイント
1	疾病構造の変化 (第３章第１節)	人口や死亡率、平均寿命、合計特殊出生率などの指標を見ることで、医療需要の変化について理解する。 キーワード：人口構造、少子高齢化、人口減少、死亡率、平均寿命、合計特殊出生率	人口（高齢化率）や死亡率、合計特殊出生率など、医療に関係しているデータを見ることで医療需要の変化を確認しましょう。また、医療需要の変化に合わせて、そのような医療・保健制度が必要となったのかを考えてみましょう。
2	医療法 (第４章第１節)	医療法に関して改正に留意しながら理解する。また、医療政策や医療計画についても理解する。 キーワード：医療法、地域医療構想、医療政策、医療計画	医療法とはどのような法律なのかを把握するとともに、疾病構造の変化や医療水準の進歩に合わせてどのような改正がなされてきたのかを理解しましょう。また、都道府県が策定する医療計画の内容についても把握しましょう。
3	医療提供施設 (第４章第２節)	病院と診療所の違いに注意しながら、医療提供施設について理解する。また、ベッドの種類についても理解する。 キーワード：診療所、病院、地域医療支援病院、特定機能病院	病院と診療所の違いについて理解しましょう。特に、病院には地域医療支援病院や特定機能病院など、いくつかの種類がありますが、その特徴や要件について整理しましょう。また、一般病床や療養病床などベッドの種類についても把握しましょう。
4	在宅医療サービス (第４章第２節)	在宅医療の役割や課題するとともに、在宅療養支援診療所や地域包括支援システムに理解する。 キーワード：地域医療支援診療所、地域包括支援システム	在宅療養支援診療所や在宅療養支援病院の特徴や要件を理解したうえで、なぜこれらの医療提供施設が必要になったのかを考えてみましょう。また、地域包括ケアシステムの特徴を把握したうえで、課題についても考えてみましょう。
5	医療専門職 (第５章第１節)	医師や保健師、助産師、看護師などの医療専門職について、業務独占や名称独占に留意しながら理解する。 キーワード：業務独占、名称独占	医師や保健師、助産師、看護師、理学療法士、作業療法士、視能訓練士、救急救命士などの医療専門職について根拠となっている法律に留意しながら、それぞれの仕事の内容について理解しましょう。また、業務独占や名称独占があるのかについても考えてみましょう。
6	診療報酬制度 (第４章第３節)	出来高払い制と包括払い制の違いに留意しながら診療報酬制度について理解する。 キーワード：診療報酬、点数表、薬価基準、出来高払い制、包括払い制	私たちが医療提供施設で医療を受けたときの支払いは診療報酬によって決まっています。この診療報酬の特徴について理解しましょう。特に、私たちが窓口で負担している金額は、一つひとつの医療行為の点数が合計されたもの（実際はその３割）であることを認識しましょう。

			また、出来高払い制と包括払い制の違いについても把握しましょう。
7	介護保険制度 (第４章第４節)	要介護認定について理解するとともに、介護保険制度について理解する。 キーワード：介護保険、要介護認定、介護報酬	介護保険制度について内容を理解するとともに、介護保険制度が導入された背景についても考えましょう。特に、要介護認定や利用者負担（保険給付）については重点的に学習してください。
8	医療保険制度の概要 (第４章第１節)	保険者と被保険者に留意しながら医療保険の種類について理解する。 キーワード：保険者、被保険者、健康保険、国民健康保険）	医療保険にはさまざまな種類があります。国民健康保険、健康保険（協会、組合）、船員保険、共済、後期高齢者医療制度の加入者や保険者について整理しましょう。そのうえで、自分の医療保険の種類について確認し、保険料などについて調べてみてください。
9	医療保険制度の実際 (第４章第３節)	療養の給付や高額療養費、傷病手当金、出産手当金などについて理解する。 キーワード：療養の給付、家族療養費、高額療養費制、傷病手当金、出産手当金	医療保険により医療費の３割の自己負担で医療を受けることができますが、医療保険はそれ以外にも様々な場面で活用することができます。医療保険があることで給付を受けられる制度もありますが、申請が必要な場合も少なくありません。 今後、損をしないためにも高額療養費や傷病手当金など、医療保険のさまざまな給付について理解しましょう。
10	公費負担医療制度 (第４章第３節)	公費負担医療や自立支援医療、生活保護における医療扶助などについて理解する。 キーワード：公費負担医療、自立支援医療、特定医療費、措置入院、医療扶助	私たちはかかった医療費の３割を自己負担しますが、その一部あるいは全額、国が負担してくれる公費負担医療があります。その特徴や種類について理解しましょう。
11	国民医療費の概要 (第４章第３節)	国民医療費について理解するとともに、国民医療費の現状について理解する。 キーワード：国民医療費、制度区分別、財源別、診療種類別、疾病分類別	国民医療費の内容を理解しましょう。そのうえで最近の国民医療費の特徴や変化、制度区分別国民医療費、財源別国民医療費、診療種類別国民医療費、年齢階級別国民医療費、傷病分類別医科診療医療費について把握しましょう。
12	保健医療サービスにおける多職種連携 (第５章第１節)	保健医療サービスにおける多職種連携について理解する。 キーワード：医療チーム、マルチディシプリナリモデル、インターディシプリナリモデル、トランスディシプリナリモデル	ヘルスケアと連携の意味について理解しましょう。また、多職種の望ましい連携の在り方を考えてください。
13	保健医療領域におけるソーシャルワーカーの役割 (第６章第１節)	医療ソーシャルワーカーの歴史と仕事について理解する。 キーワード：MSW の業務指針、倫理綱領、スチュワート、浅賀ふさ	医療ソーシャルワーカーの歴史と仕事の内容について理解してください。特に、受診受療援助や退院援助、他の専門職や地域との連携について把握してください。そのうえで、様々な事例に対応できるようになりましょう。

14	病者の理解と家族の理解 (第 1 章)	病者の理解や健康の定義、疾病の概念について理解する。また、家族の概念について理解するとともに、疾病や障害が家族に与える生活上の影響について理解する。 キーワード：病者、健康、疾病、非親族構成員、ダブルケア、五大疾病、ALS	近年、患者を一括りに捉えるのではなく、病気を持つ人として、その人の性格や生活まで理解することが重要となっています。医療ソーシャルワーカーにとって必要な病者の理解とは何かを考えてみてください。また、WHO による健康の定義や疾病の三つの概念についても把握してください。他方、ライフスタイルの変化や世帯構成の変化により、家族の介護機能は低下しています。家族介護者の実態や課題にについて調べてみましょう。
15	医療倫理 (第 2 章)	医療倫理について理解する。 キーワード：医療倫理の 4 原則、インフォームド・コンセント、生命維持処置、安楽死	医療法にインフォームド・コンセントに係ることが明記されるなど、近年は患者の権利が重要視されています。また、医療では様々な場面で倫理的課題に直面します。これらの内容を把握するとともに、あるべき医療の姿を考えましょう。

■レポート課題

1 単位め	「TFU オンデマンド」上で客観式レポートに解答してください。
2 単位め	現物給付と現金給付の違いについて留意しながら、高額療養費制度について説明しなさい。

※提出されたレポートは添削指導を行い返却します。

■アドバイス

【1 単位めアドバイス】

教科書をよく読み、「TFU オンデマンド」上で客観式レポートに解答してください。

【2 単位めアドバイス】

この課題に関しては、テキスト第 4 章第 3 節を参考にしてください。高額療養費制度は私たちの自己負担を軽減するための優れた制度ですが、非常に難解な制度でもあります。現金給付が基本とはなりますが、活用の仕方によって現物給付にもなり得ますし、70 歳未満と 70 歳以上で内容が異なります。それらに留意しながら整理してください。

また、頻繁に変更される制度でもあります。テキストの情報が古い可能性がありますので、必ずインターネットや保険者が発行するパンフレット等で最新の制度を確認してください。

科目修了試験

■評価基準

科目修了試験の問題は教科書から出題しています。教科書の重要なキーワードに留意して丁寧に教科書を読んでください。特に「疾病構造の変化」、「保健医療サービスの提供体制」、「医療保険」、「診療報酬制度」、「保健医療領域におけるソーシャルワーカーの役割」を丁寧に学習してください。